



# ひゅーまんらいつ

第109号 平成22(2010)年

## 第35回米子市人権・同和教育研究集会

～みんなで差別をなくし幸せな社会を実現しよう～



21世紀は「人権の世紀」といわれ、人権に対する正しい知識を深め、お互いの人権を尊重しあう社会を築くことが一層求められています。私たち一人一人の人権意識の高揚と学習活動の充実を図るため、米子市人権・同和教育研究集会を開催します。

手話通訳があります。申込は不要です。  
みなさんのご参加をお待ちしています。

▶ 期日：2010(平成22)年1月21日(木)

▶ 会場 全体会：米子コンベンションセンター(多目的ホール)

分科会：米子コンベンションセンター会議室・米子市文化ホール研修室など

▶ 日程 9:00 9:20 9:45 10:20 10:30 12:00 13:20 16:30

受付	全体会	意見発表	休憩	記念講演	昼食(移動)	分科会
----	-----	------	----	------	--------	-----

今年は、中学生・企業の  
意見発表です

福永宅司さん トークと一人芝居  
「君をいじめから守る」

### 福永宅司(ふくなが たくじ)プロフィール

子どもの学び館代表取締役 子育て支援研究所主宰  
教育・子育て講演家 一人芝居演者

福岡市在住の元小学校教諭 元大学講師。

在職中の22年間は子どもたちの学力保障と人権教育にこだわり創造的な教育実践を展開。

その実践をもとにした子育て講演、人権啓発活動の一人芝居が、話題となり、「もう一度見たい」「涙と笑いのあつという間の時間だった」と口コミで依頼が殺到。

2004年4月、教職を離れ、「子どもの学び館」を創設し子育て支援事業を展開するとともに、講演活動に専念。

今では、「一人芝居先生」として年間200回前後のペースで、全国で講演活動を展開している。



# 1・2月のイベント案内

## 平和な未来を創るために、 私たちにできることを考えるシンポジウム

～子どもたちを被害者にしない社会に～

託児・手話通訳があります

日 時：2010（平成22）年1月16日（土） 13：00～16：30

場 所：米子コンベンションセンター 多目的ホール

講 演：NPO 法人テラ・ルネッサンス理事長

鬼丸 昌也さん

「僕は13歳。職業、兵士」

シンポジウム：平和を願う、子どもたちとの対談

主 催：人権を考えるシンポジウム実行委員会

問合せ先：電話080-1921-1711（森田）

### 鬼丸昌也さん

カンボジアでの地雷除去支援・小型武器の不法取引規制に関するキャンペーン、ウガンダやコンゴでの元・子ども兵の社会復帰支援事業など平和活動を実施。

## 誰でも人権アカデミー 特別講座を開催します

人権情報センターでは、誰でも人権アカデミー特別講座として、セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク副代表の土肥いつきさんをお迎えし、講演会を開催いたします。

今回の講座は、中央隣保館で行われている「ワクワク人権講座」との合同開催になります。

土肥さんは、米子でのご講演は初めてになります。

みなさま、ぜひご参加ください。

日 時：2010（平成22）年2月20日（土） 19：00～20：30

場 所：米子コンベンションセンター 小ホール

講 演：土肥 いつきさん

（京都府立高校教員・セクシュアルマイノリティ教職員ネットワーク副代表など）

「ありのままのわたしを生きる」

問合せ先：米子市人権情報センター（電話37-3183）

今月の本棚



「僕は、字が読めない。」

ディスレクシア なくもあきひこ  
読字障害と戦いつづけた南雲明彦の24年 小菅宏 / 著

21歳になるまで「理解力はある程度あるが、読み書きがうまく出来ない」という困難に苦しみ、引きこもりや自傷行為、強迫性障害による入退院を繰り返す。自身がLD（学習障害）のディスレクシア（読み書き困難）であることを知り、ようやく苦しみから解放される。

人々に対して「文字を読む能力」を強いる社会の風潮が、「その能力が不足する当事者」に目に見えない圧力をかけている現実を考えさせる一冊です。

米子市人権情報センター 〒683-8686 米子市東町161-2

0859-37-3183 Fax 0859-37-3184

E-mail humanr@ruby.ocn.ne.jp

URL: <http://www.yonago-city.jp/jinken/index.htm>

